

No.2029

10月9日例会 プログラム 「米山月間に因んで」 米山記念奨学会委員会 石川勝幸委員長

10月16日例会 プログラム 「ベトナム紀行」 三宅 孝治君

10月9日のメニュー ・米山ランチ (ハヤシライス・野菜サラダ・プリン・コーヒー)

前回(10月2日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	25名	欠席者数	8名	出席率	75.76%	前回補正率	81.82%
	前回補正者	島田君 白石君								
	欠席者	林君 石川君 井上君 岸君 仲田君 小野君 富永君 山田(次)君								

会長挨拶

ようこそお出でくださいました。本日は土地の価格についてです。9月18日岡山県が行う地価調査(毎年7月1日現在の基準地の地価を調査)の結果、「基準地価」が公表されました。土地の売買の際、適正な価格を判断することは難しいものですが、この基準地価は標準地の一般取引の指標となるものです。平成21年度は県内全市町村467地点について調査公表され、玉野市では12地点調査公表されていますが、リーマン・ショック後の不景気の影響か玉野市ではほぼ全地点で2~3%の落込みです。内容は岡山県のホームページより地域振興課の平成21年度地価調査結果についてで閲覧できます。このほか土地の適正価格を判断する参考として、国土交通省が毎年1月1日現在の標準地の「公示価格」を公表し、土地取引はこの公示価格を指標とするよう指導しています。玉野市では23地点が公表され、この公示価格は国土交通省のホームページで閲覧できます。そのほか、国税庁が公表する「路線価」がありますが、実勢価格の8割程度と言われます。土地売買を行う際には幾つかの価格を参考にして判断してほしいものです。

会長報告

- ・本日例会後、理事役員会を開催します。理事・役員の方は出席お願い致します。

幹事報告

- ・(財)ロータリー米山記念奨学会より藤田ガバナー補佐、東川会長に米山功労者寄付に対する感謝状が届いております。
- ・新入会員の岸啓二君と星野要二君の名簿シールを配布させていただきますのでお手持ちの手帳型会員名簿に貼り付けてください。
- ・他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

感謝状贈呈 米山功労者感謝状贈呈

藤田ガバナー補佐
(右側)



東川会長
(左側)



第4回定例理事役員会議事録 10月2日

- ・第20回たまの人形劇フェスティバルへの協賛金について 10,000円寄付することで承認。
- ・MOA美術館児童作品展への協賛について 10,000円寄付することで承認。

委員会報告

- ・ インターネット・雑誌・広報委員会（渡邊委員長）：「ロータリーの友」「Governor's Monthly Letter」10月号のご紹介(①及び②は「ロータリーの友」に、③及び④は「Governor's Monthly Letter」に掲載)
10月は職業奉仕月間(横組み：P6～P15) 10月は米山月間(横組み：P17～P21)
③ガバナー公式訪問だより/玉野ロータリークラブ(P8) ④米山功労者(P13)
- ・ 親睦・家族委員会（三谷委員長）：① <誕生日祝> 宮原君 4日、小野田君 17日、藤田君 21日、山田(孝)君 26日 <結婚記念日祝> 東川君 2日、林君 10日、藤田君 14日、三宅(保)君 17日
②家族会のご案内⇒バス旅行（行先：アサヒビール四国工場・ICHIHIRO タオル美術館・河野観光農園、日時：平成 21 年 11 月 8 日(日)7:50 発～17:55 着)

スマイル・ボックス

- ・ 安江君－①岸様、星野様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。②宮原様、白石様、9月27日のゴルフお世話になりました。③9月25日遅刻致しました。
- ・ 白石君－9月17日中国舟山市で中日合弁の「海之煌（ハイツーフアン）設計有限公司」を設立しました。
- ・ 大西君－①本日の卓話のクイズ正解に対して。②本日理事役員会欠席。
- ・ 藤田君、宮原君、小野田君、山田(孝)君－誕生日。 藤田君、東川君、三宅(保)君－結婚月。
- ・ 三谷君、島田君－前回欠席。 東川君－本日例会早退。

プログラム 「職業奉仕月間に因んで」 職業奉仕委員会 大西 正高委員長

本日は職業奉仕月間に因んだ人物について話をさせていただきます。

最初は、アーサー・フレデリック・シェルドン(1868-1935年)です。彼は職業奉仕の標語である“**He profits most who serves best**”即ち「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を言い出した訳です。私だったら「ベストを尽くして奉仕その他で頑張っていたら、きっと良い事があるよ」という柔らかな言い方で理解したいところですが、彼はロータリーの歴史でも三大尊敬すべき人達の中の一人で、「自ら利益をあげることにのみ狂奔せず、自分の職業を通じて地域社会の人に奉仕するという態度で、即ち専門職務の人と同じ考え方で企業運営すれば、その見返りとして最高の利益が得られる」ことを説いたのです。これが今日の職業奉仕の基本になっておりまして、全世界で先程の標語が叫ばれております。彼は1901年、1911年、1913年、1921年の都合4回の国際大会とThe Rotarian に対する数回の投稿で職業奉仕の理念を説いています。1921年エジンバラで開催された国際大会で「ロータリアンの職業は利益を得るためではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在する」と述べています。

次は、チェスリーR・ペリーです。ロータリー創立から3年後の1908年入会で初代事務総長をされていた方です。

3番目は、アル・カポネです。この方はロータリーとは全く縁がないと思いますが、アル・カポネの時代がロータリーの創成期だったのです。1920年～1933年に禁酒法という法律がアメリカでは存在しておりまして、シカゴでギャングを支配していた彼は禁酒法を逆手にとって非常に儲けたのです。酒を禁止したことにより酒の密造や密輸が増え酒をめぐる犯罪も増えました。15,000軒あったバーが禁酒法時代には32,000軒にも増え、増えた分は大半が営業許可のないもぐりのバーであったそうです。ギャング達はそのもぐりのバーで儲け、とくにアル・カポネは非常に大きな利益を出したそうです。風呂の水にアルコールとエッセンスを流し込んでかき混ぜただけのものを瓶に入れて販売するとかで、そういった悪酒で2,000人近い死亡者や失明者が出たそうです。彼は巨万の金を稼ぎましたが、貯蓄が殆どなくどんどん使っていったそうです。競馬だけでも毎年100万ドルはスツたそうです。ただ、日本でも神戸の大地震の時に日本最大の暴力団が被災者に物を配ったように、弱い人にそういうことも彼は当時していたそうです。それは逮捕を逃れるとか、貧しい人の手助けをすることによって市民からのサポートを得たいといことも言われております。

4番目は、皆様ご存知のポール・ハリスです。1947年に亡くなっていますが、1905年に当時38歳でシカゴにてロータリーの最初の会合を開いた弁護士です。会長には1907年に就任されています。

5番目は、米山梅吉です。彼は三井銀行の重役で1920年に世界で855番目のロータリークラブを日本で東京ロータリークラブとして設立しました。

最後は、福島喜三次（フクシマ キソジ）です。米山梅吉にロータリーの存在を伝えた三井物産現地法人支配人であって、第一次世界大戦中の1915年にダラスでAdditional正会員となった日本人最初のロータリアンで、1918年米山梅吉にダラスでロータリーを紹介した方です。

これから先は、職業奉仕とは自分の仕事を一生懸命することで社会奉仕にもなっているというロータリーの基本理念に基づいて、最近経験した私どもの医療の一部をご紹介します。

(以降はスライドによる医療の一部のご紹介がありましたが、紙面の都合上省略させていただきました/会報委員会)

